



担当=DZHフィナンシャルリサーチ・石原敬子

Refinitiv(リフィニティブ)はロンドン証券取引所グループ(LSEG)傘下の金融情報提供会社です

知りたい  
**投信** なるほど  
リップー

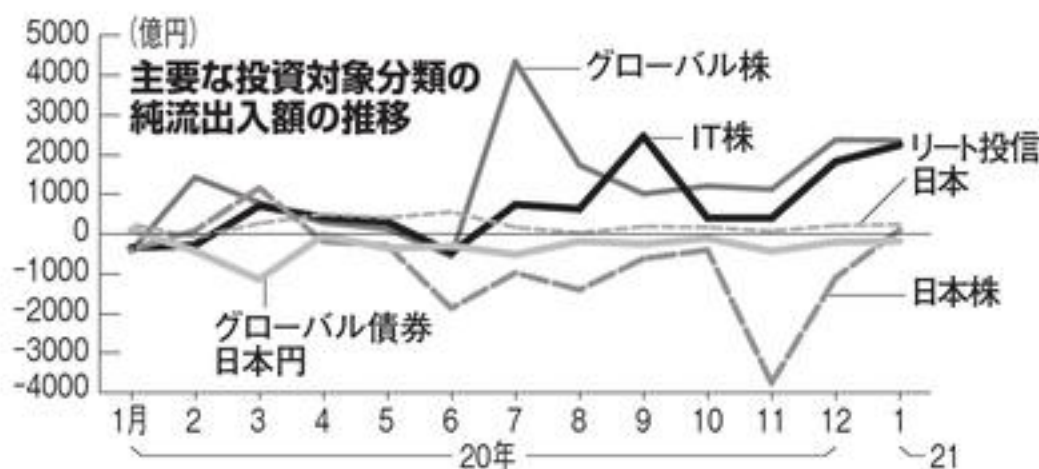
## 1月の資金動向

# 明確な運用目的に資金が集まる

2021年1月は世界の株式市場が上昇気流に乗り、投資信託市場には資金が集まりました。リップーの推計で、上場投資信託(ETF)を除いた国内販売の投信への純流入額は、5651億円。2カ月ぶりの流入超過に転じ、純流入額は18年10月以来の大きさになりました。ETFを含めた純流入額は9911億円で、13カ月連続の純流入です。

リップーの投資対象別分類では、日本株で運用する投信がやっと純流入に転じました。20年4月から9カ月連続の純流出が続いていたのです=グラフ。トンネルを抜け出せていないのは、世界各国の債券に投資する「グローバル債券 日本円」に分類される投信で、12カ月連続の純流出です。

一方、昨年夏ごろから資金



分類内の投信の純資産総額を合計し、残高上位5分類について、分類内の投信の設定額から解約・償還額を差し引いた純流出入額を累計した。上場投資信託(ETF)を除く。2021年1月はリップー推計

## ■資金純流出入額ランキング (2021年1月)

順位	ファンド名	資金純流入額(百万円)
〈純流入額トップ5〉		
1	日本超長期国債インデックスファンド(ラップ向け)(三菱UFJ国際)	141,262
2	ファンド・マネジャー(国内株式)(三菱UFJ国際)	61,711
3	デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド(日興)	50,256
4	グローバル・プロスペクティブ・ファンド	49,707
5	グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)(アセットマネジメントOne)	45,141
〈純流出額トップ5〉		
1	ファンド・マネジャー(国内債券)(三菱UFJ国際)	-185,669
2	グローバル3倍3分法ファンド(1年決算型)(日興)	-25,974
3	国内株式SMTBセレクション(SMA専用)(三井住友トラスト)	-11,948
4	グローバル3倍3分法ファンド(隔月分配型)(日興)	-11,590
5	ネットウィンB(ゴールドマン)	-11,279

上場投資信託(ETF)を除く株式オープン投信について設定額から解約・償還額を差し引いた。リップー推計

を集めているのが、グローバル株とIT(情報テクノロジー)株が運用対象の投信。1月も昨年からの流れを引き継ぎました。

個別の投信では、ラップ口座の投信に入れ替えがあった模様です。純流入額1位と2位は、どちらもラップ口座専用投信。純流出1位と3位もラップ口座専用です=表。

ラップ口座とは、投資家が一定の金額を証券会社などに預けて投資を一任する契約を

結んだ口座のこと。運用方針に基づいて、実際の資産の運用・管理を証券会社などにお任せするものです。

純流入額3~5位の投信はアクティブファンドが並びました。それぞれ「動画配信などの娯楽メディア」「イノベーション」「ESG(環境・企業統治・社会)」に関連する企業の株式で運用する投信です。はっきりしたコンセプトの投信に資金が集まり始めています。